

# 会計データお預かりサービスとは？

会計データお預かりサービスとは、ブルーリターンAの会計データをインターネットのクラウド上のデータセンターに自動的にバックアップするサービスです。

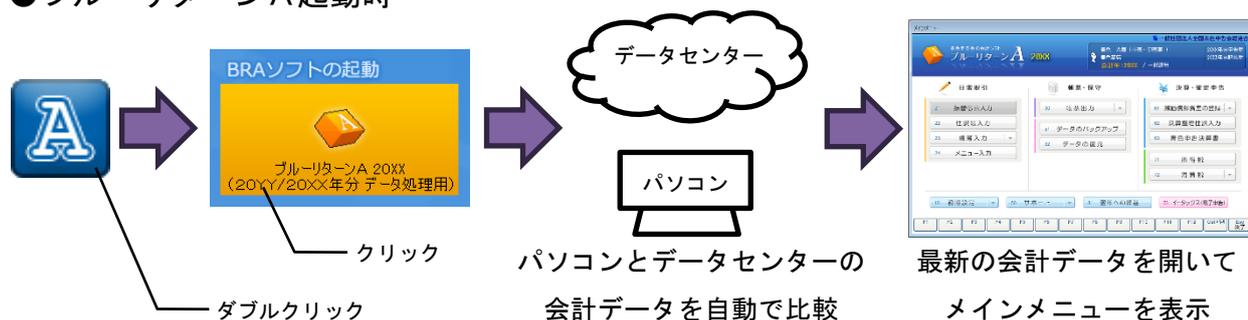
会計データのバックアップは、ブルーリターンA終了時に自動的に行われるため、常に最新のデータが保存されます。

最新のデータが保存されるため、ご所属の青色申告会での記帳・決算申告等の指導相談時に、パソコンやUSBメモリ等の持ち運びが不要となります。また、USBメモリ等へのバックアップ漏れ等のトラブルも無くなります。

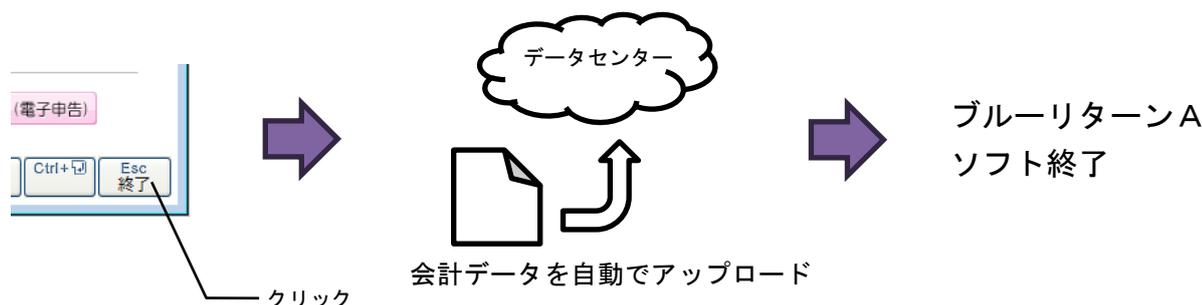
指導相談を受けた後、自宅等のパソコンでブルーリターンAを起動した際に、最新のデータを自動的にダウンロードするため、USBメモリ等からの復元も不要となります。

さらにパソコンの故障や災害等で会計データが消失した場合でも、保存したデータをすぐにダウンロードすることができ、最新の会計データから記帳等を行えるようになります。

## ●ブルーリターンA起動時



## ●ブルーリターンA終了時



※会計データお預かりサービスは、ブルーリターンA 2026（事前準備版を含む）からご利用になれます。ブルーリターンA 2025 までは、サービス提供対象外です。

※青色申告会で指導相談時にデータセンター上の会計データを共有する際には、利用会員の同意が必要です。

※会計データお預かりサービスの詳細な操作方法等については、ブルーリターンAのホームページ（[こちら](#)）を参照ください。